

追加型投信/国内/株式

## にいがた未来応援日本株ファンド



# おかげさまで 4周年記念レポート

おかげさまで、2023年7月にファンド設定4周年を迎えました。  
純資産は170億円を上回り、寄附金額も昨年を上回るものとなりました。  
今後も、にいがたの皆さまに愛されるファンドを目指し、運用を行ってまいりますので、  
よろしくお願い致します。

## 「にいがたの架け橋」の基準価額・純資産総額の推移



※ 基準価額は1万口あたりで表示しています。

※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、分配金実績があった場合に税引前分配金を再投資したものとして算出しています。

※ 上記は過去の実績および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## 第4期 寄附金総額：27,380,906円

### ●寄附先 新潟県



新潟県では、人口減少などによる社会経済状況の変化などを踏まえ、有識者による「新潟県 持続可能な社会実現に向けた政策に係る検討委員会」を設置し、中長期的な県勢の維持又は発展に向けて展開すべき施策などについて検討が進められています。県内各機関と連携を深めながら、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向けて取り組みが行われています。

### [寄附金使用用途]

新潟県が進める未来づくりのための取り組み、地域福祉の推進、文化活動の支援などにご活用いただきます。

### ●その他の寄附先

- 公益社団法人 新潟県看護協会
- 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
- 一般社団法人 新潟県母子寡婦福祉連合会

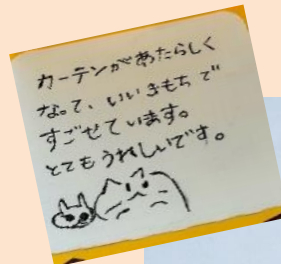
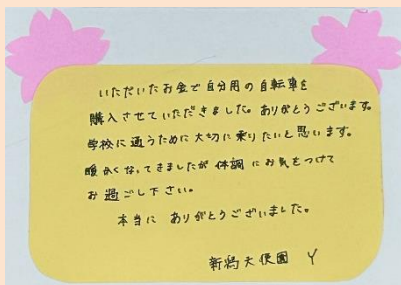


### [寄附金使用用途（予定）]

新潟県の社会福祉に関連する団体などに、教育格差の解消や教育水準の向上、親子や地域の交流促進、高齢化社会に向けた介護支援などの取り組みにご活用いただけます。

## 寄附金だより

- 昨年、社会福祉団体へ贈呈した寄附金が勉強机やパソコン、新生活を始める児童の自転車購入などにご活用いただきました。子供達から大切に使いますなどと書かれたお手紙をたくさんいただきました。



若竹寮  
施設長 片桐 友紀  
(職 印 省 略)

ご寄付のお礼について

拝啓

陽春の候、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
この度は若竹寮に多大なるご寄付を頂戴しましたこと、心より感謝申し上げます。子ども達の教育水準の向上を目的としてご厚志を使わせて頂きます。  
現在、児童養護施設で生活している子ども達の生活にかかわる費用は、公費によって保障されておりますが、子ども達一人ひとりの育ちを支えるためには十分な配慮ができていないといえませんが、そのため多くの皆様からのご寄付やご協力によって、子どもと施設は支えられています。  
子ども達が健やかに育ち明るい未来に向かって前進していけるよう、職員一丸となり努力していく所存です。どうぞ、今後もお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。  
略儀ではございますが取り急ぎ書中をもって御礼まで失礼いたします。

敬具





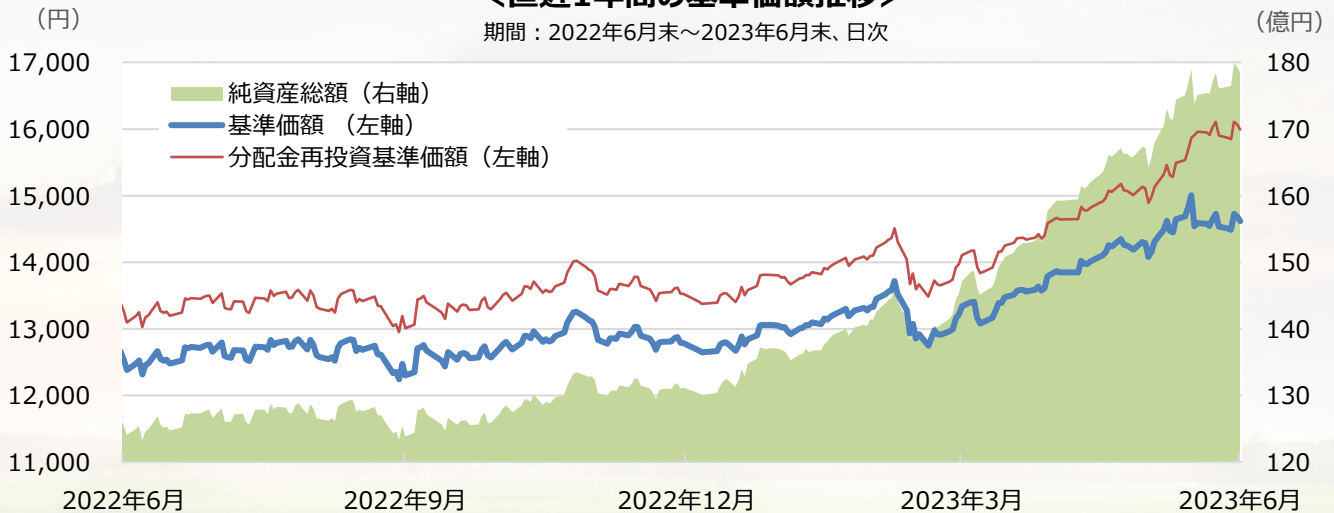
# ファンドのパフォーマンス

## ◆ 当ファンドの運用状況

- 当ファンドの直近の1年間の基準価額はおおむね堅調な推移となりました。植田日銀新総裁が就任した後も金融緩和が継続されていることや海外投資家による日本株投資が強まったことなどから、2023年4月～6月のパフォーマンスは良好な結果となりました。足元の当ファンドの基準価額は分配金再投資基準価額ベースでみると、設定来の高値圏で推移しています。
- 2023年6月決算では、おおむね良好な運用状況を背景に、昨年につき、分配金(500円(1万口あたり))をお支払いしています。

### <直近1年間の基準価額推移>

期間：2022年6月末～2023年6月末、日次



※ 基準価額は1万口あたりで表示しています。

※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、分配金実績があった場合に税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

- ファンドの2023年1月以降のパフォーマンスをみると、「にいがた関連株式」、「高配当日本株」とともに良好なパフォーマンスでした。特に、海外投資家から注目された日本の大手商社などの組み入れを行っている「高配当日本株」の寄与度が高くなりました。(2023年6月末時点)

### <基準価額の要因分析>

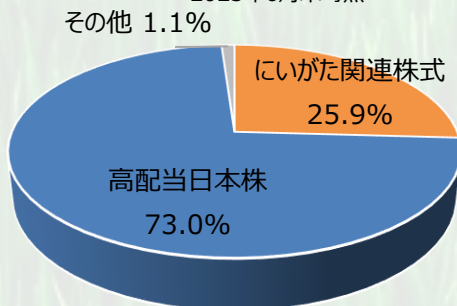
(2023年6月末まで、単位：円)

	設定来累計	2023年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
騰落額	4,618	234	257	60	453	291	538
にいがた関連株式	618	53	46	62	101	-181	143
高配当日本株	5,941	198	252	4	370	488	914
分配金	-1,200	0	0	0	0	0	-500
その他	-744	-17	-41	-7	-18	-17	-20

分配金再投資基準価額ベースでは+1,038円

### <資産配分>

2023年6月末時点



2023年1月以降のパフォーマンスは、東京証券取引所によりPBR(株価純資産倍率)が1倍を下回る企業に対して改善を促す方針が示されたことや円安効果なども日本株の堅調な推移に繋がり、当ファンドの基準価額の下支え要因となったと考えられます。

※ 「基準価額の要因分析」は、簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

※ 四捨五入した数値を使用しているため、各要因の合計が騰落額と一致しないことがあります。

※ 資産配分における「にいがた関連株式」と「高配当日本株」は、それぞれ明治安田にいがた関連株式マザーファンドと明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドの当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 上記は過去の実績および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

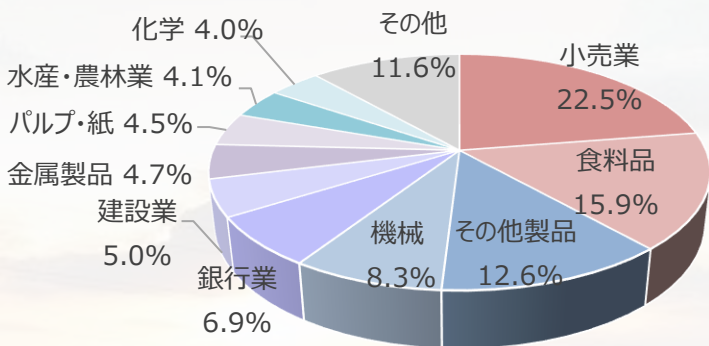
# にいがた関連株式

## ◆ 「にいがた関連株式」の特徴

- 小売業、食料品といった内需向けの産業が多い傾向があります。

＜「にいがた関連株式」の業種別組入状況＞

2023年6月末時点



「にいがた関連株式」は小売業、食料品といった内需向けの産業が多く、海外の影響を受けにくい傾向があると考えています。

※業種は、東証33業種分類を使用。

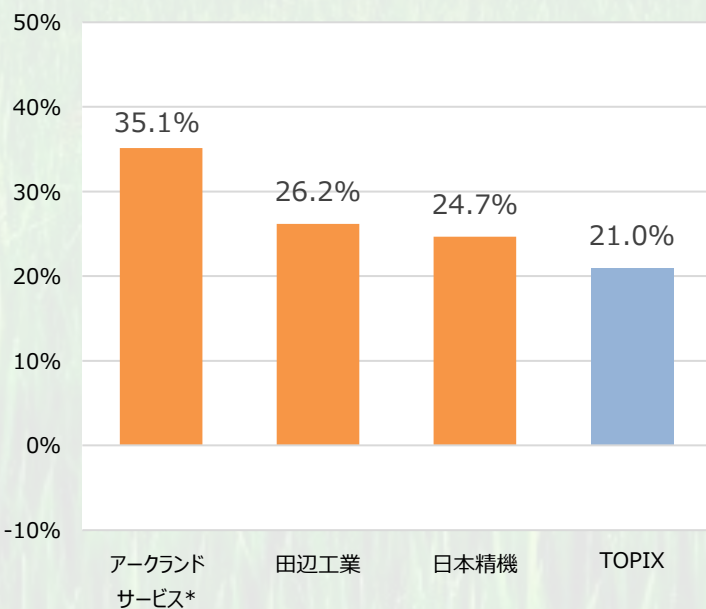
※組入比率は、にいがた関連株式マザーファンドにおける比率です。当ファンドの純資産総額に対する比率ではありません。

## ◆ 2023年上半期に堅調に推移した「にいがた関連株式」と組入上位10銘柄

- 2023年上半期(1月～6月)は大型株が優位な相場展開でしたが、「にいがた関連株式」の中にも同期間において、TOPIXを上回るパフォーマンスをみせた銘柄がありました。

＜2023年上半期に堅調に推移した銘柄の騰落率＞

期間：2022年12月末～2023年6月末



\*アークランドサービスホールディングスが正式な社名になります。

※TOPIXは、「にいがた関連株式」のベンチマークではありません。

出所：ファクトセットのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

＜「にいがた関連株式」の組入上位10銘柄＞

2023年6月末時点

順位	銘柄名	東証33業種	組入比率
1	ヨネックス	その他製品	5.0%
2	セイヨー	食料品	4.9%
3	アークランドサービス ホールディングス	小売業	4.8%
4	北越コーポレーション	パルプ・紙	4.5%
5	スノーピーク	その他製品	4.5%
6	第四北越フィナンシャルグループ	銀行業	4.4%
7	アクシアル リテイリング	小売業	4.4%
8	コメリ	小売業	4.4%
9	ハードオフコーポレーション	小売業	4.3%
10	北越工業	機械	4.3%

※業種は、東証33業種分類を使用。

※組入比率は、「にいがた関連株式」部分における比率で、当ファンドの純資産総額に対する比率ではありません。

※個別銘柄への投資を推奨するものではありません。また、組入銘柄は将来変更されることがあります。

※上記は過去の実績および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



## ◆ 「にいがた関連株式」の組入銘柄のご紹介

### ▶ ヨネックス (業種:その他製品 証券コード:7906)

独創的なスポーツ用品の製造・販売を展開

#### 📁 事業内容

- ◆ テニスラケット、バドミントンラケットなどで世界的な企業として知られているスポーツ用品メーカー。

#### 📁 強み

- ◆ カーボン技術などを応用し、バドミントン、テニス、ゴルフの分野では、プロのアスリートからもその技術力、ブランド力が認められている。



### ▶ アークランドサービスホールディングス (業種:小売業 証券コード:3085)

とんかつ専門店「かつや」などを展開

#### 📁 事業内容

- ◆ 首都圏を中心にとんかつ専門店「かつや」、からあげの「からやま」、江戸前天丼の「はま田」、気軽にタイ料理が楽しめる「mango tree cafe」などの飲食チェーン店を展開。

#### 📁 強み

- ◆ 快適な空間と美味しいものを手ごろな価格で提供するなどの効率的な店舗運営に強みを持つ。新たな飲食サービスへの参入も行っている。



※写真は会社HPより許諾をうけたものまたはイメージ写真を使用。

出所：ファクトセットのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

※個別銘柄への投資を推奨するものではありません。また、組入銘柄は将来変更されることがあります。

※上記は過去の実績および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# 高配当日本株

## ◆「高配当日本株」は引き続き底堅い展開を予想

- 欧米の金融引き締めの影響などもあり、国内株式市場では2021年末以降バリュー株がグロース株より優位な展開が続きました。当ファンドが約70%の組み入れを行っている「高配当日本株」は、金融機関、商社、自動車産業などの割合が高く、大型バリュー株への投資比率が高いこともあり、底堅い動きとなりました。
- 2023年後半も、「高配当日本株」は以下の理由などにより底堅く堅調に推移するとみています。
  - ① 植田新体制後も日銀の金融緩和が当面続く見通しであること
  - ② 景気敏感型の大型企業の業績回復が順調に進んでおり、「高配当日本株」に組み入れしている銘柄(大手商社、トヨタ、キャノンなど)の増配が発表されていること
  - ③ 東京証券取引所によりPBR(株価純資産倍率)が1倍を下回る企業に対して改善を促す方針が示され、「高配当日本株」でも投資している国内企業に資本効率を高めようとする動きが出始めていること
- 世界的な物価上昇が抑制されはじめ、欧米の金融引き締めも終盤に差し掛かる中、「高配当日本株」では業績が改善している増配銘柄を中心に投資しているため、今後も底堅い展開を予想しています。

### <「高配当日本株」の組入上位10銘柄>

2023年6月末時点

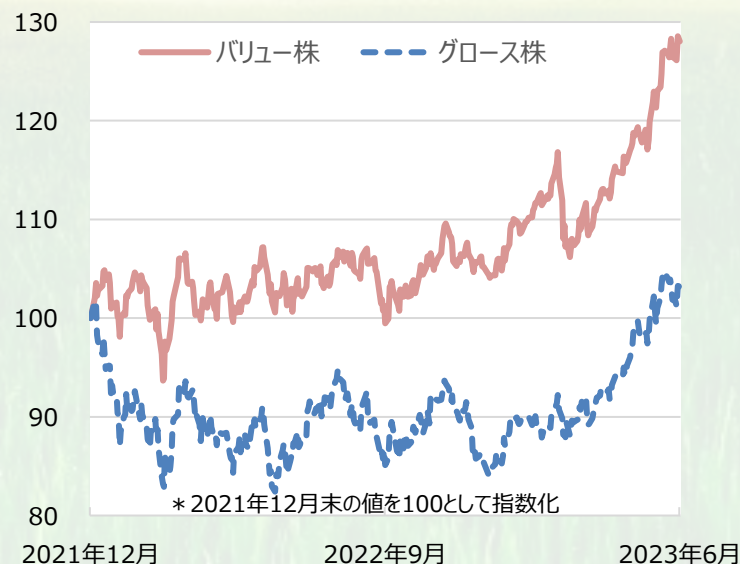
銘柄名	東証33業種	組入比率
1 三菱商事	卸売業	6.8%
2 伊藤忠商事	卸売業	6.4%
3 三井物産	卸売業	6.4%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	6.3%
5 プリヂストン	ゴム製品	5.6%
6 KDDI	情報・通信業	5.4%
7 日本電信電話	情報・通信業	5.3%
8 キャノン	電気機器	4.9%
9 東京海上ホールディングス	保険業	4.8%
10 大和ハウス工業	建設業	4.6%

- ※ 業種は、東証33業種分類を使用。
- ※ 組入比率は、明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドにおける比率で、当ファンドの純資産総額に対する比率ではありません。

### <グロース株指数、バリュー株指数の推移>

(指数値)

期間：2021年12月末～2023年6月末、日次



- ※グロース株：TOPIXグロース指数、バリュー株：TOPIXバリュー指数
- ※各TOPIX指数は、「高配当日本株」のベンチマークではありません。
- 出所：ブルームバーグのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

※個別銘柄への投資を推奨するものではありません。また、組入銘柄は将来変更されることがあります。  
※上記は過去の実績および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



# ◆ 「高配当日本株」の組入銘柄のご紹介

## ▶ 三菱商事 (業種:卸売業 証券コード:8058)

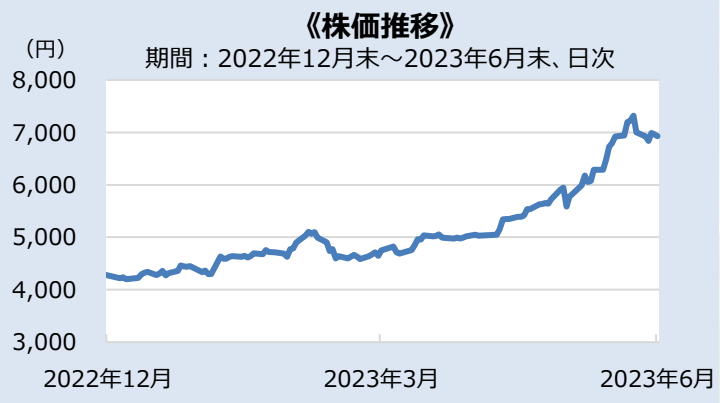
### 大手総合商社

#### 🏠 事業内容

◆ 金属、鉱物、木材、繊維、機械、食料、エネルギー・化学品、生活資材などの取り扱いに加え、データコミュニケーション、衛星通信、コンビニエンスストアの分野でも事業を行う。

#### 🏠 業績見通し

◆ 前期は、電力ソリューションなどが好調で最高益を更新し、連結純利益は1兆円台に到達。今期は資源価格下落もあり、減益となる見通しだが、連結純利益は9,000億円台が見込まれている。資本コストや株価を意識した経営の実現を目指す中、一株当たり配当も20円増配の200円と今期も連続増配が予想される。



## ▶ 伊藤忠商事 (業種:卸売業 証券コード:8001)

### 大手総合商社

#### 🏠 事業内容

◆ ルーツである繊維部門を筆頭に、食料や生活資材、情報通信などに強みをもつ。フィンテックやヘルスケア、宇宙事業など最先端分野への投資にも力をいれる。

#### 🏠 業績見通し

◆ 前期は、機械、金属、エネルギー事業などが牽引し、2年連続で連結純利益8,000億円超となる。今期は減益となる見通しだが、大手商社の中では資源価格に左右されにくい面があるため、連結純利益7,800億円と底堅い決算となる見通し。株主還元では、一株当たり配当は20円増配の160円と9年連続の増配や自己株取得が期待される。



※写真はイメージです。

出所：ファクトセットのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

※個別銘柄への投資を推奨するものではありません。また、組入銘柄は将来変更されることがあります。

※上記は過去の実績および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンドの特色

特色

1

明治安田にいがた関連株式マザーファンドおよび明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド（以下、それぞれまたは総称して「マザーファンド」ということがあります。）を主要投資対象とします。

- ◆ 明治安田にいがた関連株式マザーファンドの運用においては、にいがた関連株式の中から財務状況や流動性、バリュエーション等を考慮して銘柄を選定します。
- ◆ 明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドの運用においては、わが国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含む）の中から、予想配当利回りが市場平均を上回り、配当や業績等の安定性が高いと判断される銘柄を厳選します。
- ◆ 各マザーファンドの配分比率については、リスクコントロールの観点から投資対象銘柄の時価総額や流動性等を考慮し適宜変更します。

**(注) 当ファンドはESG上の具体的な成果を目指す商品ではありません。**

## 当ファンドの運用プロセス

### 「にいがた関連株式」 (マザーファンド)

- ・新潟県に本社（これに準ずるものを含む）がある企業
- ・新潟県に工場や店舗等があるなど新潟県の経済に貢献している企業

財務状況、時価総額、流動性、  
バリュエーション等を分析

にいがた関連株式

### 「高配当日本株」 (マザーファンド)

わが国の金融商品取引所に上場されている  
高い配当利回りが期待できる銘柄

配当利回り、業績の安定性、配当の安定性、  
株価の安定性などからスクリーニング

投資候補銘柄

財務分析、ビジネスモデル分析など  
企業のサステナビリティの観点からの定性分析

高配当日本株

「にいがた関連株式」と「高配当日本株」の配分比率は、リスクコントロールの観点から投資対象銘柄の時価総額や流動性等を考慮して決定（適宜変更）

にいがた未来応援日本株ファンド

※運用プロセスは今後変更される場合があります。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

特色

2

年1回（6月15日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ◆ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- ◆ 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- ◆ 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※将来の収益分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

## ～新潟の未来を応援するために～

当ファンドでは、お客さまにご負担いただいた運用管理費用（信託報酬）の一部を新潟県の未来づくりを支援するために寄附を行います。

●寄附の内容につきましては、委託会社が販売会社と協議のうえ決定し、委託会社のホームページを通じて、受益者のみなさまにご報告します。なお、寄附金額につきましては、委託会社と販売会社が、それぞれ、毎年6月の決算期末を基準に、収受した運用管理費用（信託報酬）の中から、当該計算期間中の日々の純資産総額に年0.1%の率を乗じて得た金額とします。

※将来的には状況によって寄附金額が変更になることがあります。



# 投資リスク

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動の影響を受け、基準価額は変動します。これらの運用により信託財産に生じた運用成果（損益）はすべて受益者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保障されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。投資信託は預貯金と異なります。

なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

### 〈主な変動要因〉

株価変動リスク	株式の価格は、政治・経済情勢、金融情勢・金利変動等および発行体の企業の事業活動や財務状況等の影響を受けて変動します。保有する株式価格の下落は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。
流動性リスク	株式を売買しようとする際、需要または供給が少ないため、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買できなくなることがあります。ファンドが保有する資産の市場における流動性が低くなった場合、売却が困難となり、当該資産の本来の価値より大幅に低い価格で売却せざるを得ず、ファンドの基準価額を下げる要因となります。
信用リスク	投資している有価証券等の発行体において、利払いや償還金の支払い遅延等の債務不履行が起こる可能性があります。また、有価証券への投資等ファンドに関する取引において、取引の相手方の業績悪化や倒産等による契約不履行が起こる可能性があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価額で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式には運用の効率性等の利点がありますが、マザーファンドにおいて他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う売買等を行う場合には、当ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。
- 資金動向、市況動向等によっては、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて行われる場合があるため、分配水準は必ずしも当該計算期間中の収益率を示すものではありません。投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況により、分配金額の全部または一部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は純資産から支払われるため、分配金支払いに伴う純資産の減少により基準価額が下落する要因となります。当該計算期間中の運用収益を超える分配を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べ下落することとなります。

### ご留意事項

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。投資信託の運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、また、登録金融機関から購入された投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料の記載内容、グラフ・数値等は資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料の運用実績に関するグラフ・数値等は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。各主体は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任はありません。
- 当資料中に例示した個別銘柄について、当該銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではなく、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。

# 手続・手数料等

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。以下同じ。) ※基準価額は、販売会社または委託会社へお問い合わせください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社へお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から受益者に支払います。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに販売会社が受付けた分を当日の申込みとします。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限（2019年7月19日設定）
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなったとき、またはこの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、あるいはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
決算日	6月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※2024年1月1日以降、公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度の適用対象となります。

## ファンドの費用・税金

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>3.3%（税抜3.0%）</b> を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。 ※購入時手数料は、購入時の商品説明、事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	<p>ファンドの純資産総額に対し、<b>年1.573%（税抜1.43%）</b>の率を乗じて得た額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの日々の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（該当日が休業日の場合は翌営業日）および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。</p> <p>&lt;内訳&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配分</th> <th>料率（年率）</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.77% （税抜 0.7%）</td> <td>ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類（目論見書、運用報告書、有価証券報告書・届出書等）の作成・印刷・交付および届出等にかかる費用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.77% （税抜 0.7%）</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.033% （税抜 0.03%）</td> <td>ファンド財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td><b>1.573%</b> <b>（税抜 1.43%）</b></td> <td>運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の日々の基準価額×信託報酬率</td> </tr> </tbody> </table>	配分	料率（年率）	役務の内容	委託会社	0.77% （税抜 0.7%）	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類（目論見書、運用報告書、有価証券報告書・届出書等）の作成・印刷・交付および届出等にかかる費用の対価	販売会社	0.77% （税抜 0.7%）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	0.033% （税抜 0.03%）	ファンド財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価	合計	<b>1.573%</b> <b>（税抜 1.43%）</b>	運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の日々の基準価額×信託報酬率
配分	料率（年率）	役務の内容														
委託会社	0.77% （税抜 0.7%）	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類（目論見書、運用報告書、有価証券報告書・届出書等）の作成・印刷・交付および届出等にかかる費用の対価														
販売会社	0.77% （税抜 0.7%）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価														
受託会社	0.033% （税抜 0.03%）	ファンド財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価														
合計	<b>1.573%</b> <b>（税抜 1.43%）</b>	運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の日々の基準価額×信託報酬率														
その他の費用・手数料	<p>信託財産の監査にかかる費用（監査費用）として監査法人に年0.0055%（税抜0.005%）を支払う他、有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、その他信託事務の処理に要する諸費用等がある場合には、信託財産でご負担いただきます。</p> <p>※その他の費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。また、監査費用は監査法人等によって見直され、変更される場合があります。</p>															

※当該手数料等の合計額については、投資者の皆さまの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

〈寄附〉 ●寄附金額につきましては、委託会社と販売会社が、それぞれ、毎年6月の決算期末を基準に、収受した運用管理費用（信託報酬）の中から、当該計算期間中の日々の純資産総額に年0.1%の率を乗じて得た金額とします。寄附の内容につきましては、委託会社が販売会社と協議のうえ決定し、委託会社のホームページを通じて受益者の皆さまにご報告します。 ※将来的には状況によって寄附金額が変更になることがあります。

●投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

●設定・運用は



Daishi Hokuetsu Securities

商号等：第四北越証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第128号  
加入協会：日本証券業協会



商号等：明治安田アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第405号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会





# 明治安田アセットマネジメント

ファンドの基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号：**0120-565787** (受付時間は、営業日の午前9時～午後5時)

ホームページアドレス：<https://www.myam.co.jp/>